Claude Certified Associate – Foundations

試験ガイド

バージョン1.0 · 発効：2026年7月 · 試験コード：CCAO-F · 本ガイドは予告なく変更されることがあります。

1. この認定資格について

Claude Certified Associate – Foundations認定資格は、最小限のサポートのもとで、Claudeを活用してビジネスや生産性向上のタスクを完了できることを証明するものです。これには、プラットフォームに組み込まれた機能、能力、ツールを使ってワークフローを効率化すること、Claudeでプロセスを改善できる機会を見つけること、品質、効率、コストのバランスが取れたアプローチを選択すること、そして限界を認識し、より複雑または技術的な作業をClaudeのアーキテクトやデベロッパーにエスカレーションすることが含まれます。

この認定資格は、オペレーション、マーケティング、プロジェクト管理、教育、コミュニケーションなどの職務で、Claudeを生産性向上ツールとして使用する実務者を対象としています。本ガイドは、受験の準備をする受験者にとっての正式な参照資料です。資格の目的、対象者、試験の形式とブループリント、採点、ポリシー、受験規則について説明しています。予約の前に全文をお読みください。

2. 資格の目的と価値

Claude Certified Associate – Foundations認定資格の主な目的は、実際のビジネスワークフローでClaudeを効果的かつ責任をもって使用するために必要な知識とスキルを、独立した立場で評価することです。この資格の取得は、資格保有者が試験ブループリントに定められた知識とスキルを実証したことを示します。

この資格を取得した受験者は、次のことができると示せます。

- 最小限のサポートのもとで、構造化されたビジネスタスクの完了にClaudeを適用する
- プラットフォームに組み込まれた機能とツールを使ってワークフローを効率化する
- Claudeを使ってプロセスを改善できる機会を特定する
- 品質、効率、コストのバランスを取るために適切なアプローチを選択する
- 限界を認識し、より複雑または技術的な実装をエスカレーションする

3. 対象者

この認定資格は、日々の職務でClaudeを生産性向上ツールとして使用し、Claudeのプロジェクト機能でプロジェクトを構築する実務者を対象としています。対象者は、オペレーション、マーケティング、プロジェクト管理、教育、コミュニケーション、一般的なナレッジワークなどの職能にわたって業務を行い、効率、意思決定、コンテンツ開発を改善するためにAIを活用しています。対象者には、AIを活用した継続的なワークフローを維持、最適化する社内スタッフと、導入、ユースケースの特定、プロセスの再設計を支援する社外コンサルタントの両方が含まれます。

受験者の技術的な専門知識は、一般に限定的から中程度です。受験者は、AIのプロンプトを気軽に使うユーザーと技術的なAI実務者の中間に位置します。その特徴は、ビジネス目標を効果的なAIとのやり取りに落とし込む、適切なツールと機能を選択する、構造化されたプロンプトを作成する、AIが生成したコンテンツを批判的に評価する、さまざまな対象者に合わせて出力を調整する、そして人間の専門知識、検証、エスカレーションが必要な場面を認識する能力にあります。

この認定資格は、APIを利用して開発を行ったりエージェントシステムを設計したりするソフトウェア開発者や、機械学習、ソフトウェアエンジニアリング、高度なAIシステム設計の専門家を対象としたものではありません。受験者には、エンタープライズ規模のAIアーキテクチャや統合を設計することは求められません。その範囲はClaude ArchitectおよびClaude Developerの資格に属し、アソシエイトはより複雑または技術的な作業をそれらの資格保有者にエスカレーションします。

4. 最低限の能力を備えた受験者のプロファイル

この試験は、合格基準を最低限満たす受験者像（MQC）を基準に設計されています。MQCとは、Claudeを中核的な生産性向上ツールとして使用し、実際のワークフローの中で効果的に適用して、効率、品質、成果を改善できる実務者です。MQCは、プロンプトの構造化、タスクのオーケストレーション、プロジェクト、アーティファクト、ワークフローベースのやり取りといった機能への習熟など、Claudeの能力に関する基礎的かつ実践的な知識を持ち、基本的な質疑応答の使い方にとどまらず、プロセスの再構想、タスクの自動化、プロジェクトの開発へと進んでいます。

MQCは、組織の状況を理解しています。つまり、Claudeがどのように価値を生み出すか、導入のリスクがどこにあるか、利用をビジネスニーズや責任あるAIの実践とどのように整合させるかを把握しています。業務の場でClaudeを日常的に実際に使用した経験があり、プラットフォーム上で一般的な生産性向上タスクやワークフロータスクを独力で完了できます。

推奨される経験

- 業務の場でClaudeを日常的に実際に使用した経験
- 構造化された問題解決、ワークフロー設計、デジタルツールの活用に関する基礎的な理解

- ビジネスアナリスト、プロジェクトマネージャー、オペレーションリード、マーケティング／コミュニケーション／人事／教育の実務者、コンサルタント、ナレッジワーカーなどの職務での経験
- ハルシネーション、コンテキストの制約、データの機密性など、AIの限界に関する実践的な理解

前提条件：必須の前提条件や必修コースはありません。ソフトウェア開発やAPIの経験も不要です。上記の経験は推奨されるものであり、必須ではありません。資格は試験の成績のみに基づいて授与されます。

5. 試験の概要

資格	Claude Certified Associate – Foundations
試験コード	CCAO-F
問題数	60
出題形式	択一式および複数選択式の問題。各問題に、選択する解答の数が明記されています
制限時間	120分
実施方法	監督付き：プログラムのポリシーに従い、オンライン監督付きまたはテストセンター、あるいはその両方
合格点	100–1,000のスケールでスケールスコア720
受験料	$99 USD
有効期間	資格が授与された日から12か月
結果の通知	合格／不合格とスケールスコア（100–1,000）。スコアレポートには分野別の正答率も記載されます

6. 試験内容の概要（ブループリント）

試験ブループリントは、測定対象となる内容分野と、試験における各分野のおおよその配点比率を定めています。配点比率は、職務タスク分析によって決定された、十分な能力での業務遂行に対する各分野の相対的な重要度を反映しています。パーセンテージは、採点対象の問題のうち各分野から出題されるおおよその割合を示します。

分野	内容分野	配点比率
1	プロンプト作成とタスク実行	14%
2	出力の評価と検証	21%
3	製品とモデルの選択	12%
4	ワークフロー統合とソリューション設計	16%
5	設定とナレッジ管理	12%
6	ガバナンス、リスク、責任ある利用	15%
7	トラブルシューティングと最適化	10%
| 合計	100%	

分野別の詳細な目標

以下の各分野には、受験者が実行できることを期待されるタスクを示しています。試験問題はこれらの目標に基づいて作成されます。

分野1：プロンプト作成とタスク実行（14%）

- ビジネスタスクおよび技術タスクのための効果的なプロンプトを作成する
- タスク分解の手法を適用して、複雑な依頼を構造化する
- プロンプトを反復的に改良して出力の品質を高める
- タスクの種類（分析、調査、下書き、ブレインストーミング）に応じてプロンプト作成の戦略を調整する

分野2：出力の評価と検証（21%）

- Claudeが生成した出力の正確性と網羅性を評価する
- 応答に含まれるハルシネーション、不整合、バイアスを特定する
- ファクトチェックと検証の手法を適用する
- 人間によるレビューや追加の検証が必要な場面を判断する
- 想定する対象者に合わせて出力を編集、調整、改良、比較する
- 情報を整理、選別し、適切な出力形式（アーティファクト、インライン、構造化データ）を選択する

分野3：製品とモデルの選択（12%）

- Claudeの適切な製品機能（プロジェクト、リサーチ、チャット、アーティファクト）を選択する
- Claudeのモデルの種類（Haiku、Sonnet、Opus）を区別する
- モデルの選択をタスクの要件（コスト、速度、品質）に合わせる
- コンテキストの制限とメモリに関する考慮事項（やり直す、要約する、保持するタイミング）を理解し、管理する

分野4：ワークフロー統合とソリューション設計（16%）

- 要件とユースケースの分析にClaudeを適用する
- 調査、計画、プロセスの最適化にClaudeを活用する
- ソリューションの設計、開発、反復的な改善を支援するためにClaudeを使用する
- 既存のワークフローにClaudeを統合し、ワークフローを強化または再設計する
- Claudeの価値と限界をステークホルダーに伝える

分野5：設定とナレッジ管理（12%）

- 指示とナレッジソースを使ってClaudeのプロジェクトを設定する
- アップロードしたナレッジとコネクタ（Google Drive、Gmailなど）を管理する
- 効果的なシステムレベルの指示を作成する
- Claudeの設定、ナレッジソース、指示に情報を反映し、維持、更新する

分野6：ガバナンス、リスク、責任ある利用（15%）

- 適切なユースケースと不適切なユースケースを特定する
- データの機密性、規制、プライバシーに関する考慮事項を適用する
- 組織のAIポリシーとガバナンス基準に従う
- AI利用の倫理的な影響を理解する

分野7：トラブルシューティングと最適化（10%）

- 期待どおりに機能しないプロンプトや質の低い出力の問題を特定、診断、解決する
- フィードバックと結果に基づいてアプローチを調整する
- 効率と効果を高めるためにワークフローを最適化する

7. 準備の方法

必修のコースはありません。Anthropicは、特定のリソースが合格を保証するものであるとは約束しません。受験者には、実践的な経験と以下のリソースを組み合わせることをお勧めします。

- セクション6の試験ブループリントを学習し、各目標に照らして自己評価する
- プロジェクト、アーティファクト、メモリ、スキル、コード実行などのClaudeの機能について、Anthropicの公式ドキュメントとヘルプ記事を確認する
- プロンプトの構造化、タスクの分解、出力を改善するための反復を練習する
- 実際のワークフローを構築する：指示とナレッジソースを使ってプロジェクトを設定し、出力の正確性とバイアスを評価する
- 責任ある利用の判断を練習する：データの機密性、適切なユースケース、エスカレーションや人間によるレビューを求めるタイミング
- セクション8のサンプル問題を解き、出題スタイルに慣れる

8. サンプル問題

これらの例題は、試験の出題スタイルと認知レベルを示すものです。実際の試験の問題バンクから抜粋したものではありません。正解と解説は問題の後に記載しています。

サンプル1 · 分野2：出力の評価と検証

あるアソシエイトがClaudeに新しい規制の要約を依頼したところ、Claudeは特定の項番号を引用した、確信に満ちた要約を作成しました。この要約をコンプライアンスチームに送る前に取るべき最も適切な行動はどれですか。

A. Claudeが高い確信を示しているので、そのまま送る。

B. 共有する前に、引用された項を規制の公式な条文と照合して確認する。

C. Claudeに自身の確信度を評価させ、評価が高ければ送る。

D. よりフォーマルに聞こえるように要約を書き換えてから送る。

サンプル2 · 分野3：製品とモデルの選択

あるアソシエイトは、短い顧客返信の下書きを大量に生成する必要があり、深い推論よりも速度とコストが重要です。このタスクに最も適した選択肢はどれですか。

A. 品質を最大化するために、すべての返信に最も高性能で最もコストの高いモデルを使用する。

B. 単純で大量のタスクに適した、より高速で低コストのモデルを使用する。

C. コストを削減するために、すべての製品機能を無効にする。

D. 別のAIプラットフォームに切り替える。

サンプル3 · 分野6：ガバナンス、リスク、責任ある利用

あるプロジェクトマネージャーが、Claudeに傾向を分析させるために、顧客名と口座番号を含むスプレッドシートをアップロードしたいと考えています。組織のポリシーでは、規制対象の個人データの共有が制限されています。最も適切な行動はどれですか。

A. 分析は社内向けなので、ファイルをそのままアップロードする。

B. ポリシーに従い、アップロードする前に個人を識別する情報を削除または匿名化する。

C. ファイルをアップロードするが、Claudeに保持しないよう指示する。

D. 分析そのものをやめる。

正解と解説

サンプル1：B。言語モデルは、引用番号のような具体的に見える詳細を捏造することがあり、これがハルシネーションです。事実に関する主張、特にコンプライアンス担当者に向けた引用を、信頼できる情報源と照合して検証することが、倫理的責任として求められる手順です。自己申告の確信度（A、C）は正確性の信頼できる指標ではなく、体裁の変更（D）は正しさの問題に対処しません。

サンプル2：B。モデルの選択をタスクの要件に合わせるとは、単純で大量の作業にはより高速で低コストのモデルを割り当て、最も高性能なモデルは複雑な推論のために取っておくことを意味します。常に最上位のモデルを使用すること（A）は、コストとレイテンシの予算を無駄にします。機能を無効にすること（C）やプラットフォームを切り替えること（D）は、このトレードオフに対処しません。

サンプル3：B。データの機密性とプライバシーの保護措置を適用するとは、規制対象の識別情報を使用前に削除または匿名化することを意味し、これにより保護対象のデータをさらすことなく分析を進められます。そのままアップロードすること（A）はポリシーに違反します。モデルにデータを保持しないよう指示すること（C）は、ポリシー上の管理要件を満たしません。匿名化によって分析が可能になるのであれば、タスクを断念すること（D）は不要です。

9. 試験の採点方法

Claude Certified Associate – Foundations試験は、基準準拠型の評価です。各受験者は、他の受験者との比較ではなく、固定された到達基準に照らして測定されます。合格するには、他の受験者の一定割合を上回る成績を収めるのではなく、ブループリントに定められた知識とスキルを実証します。

合格基準。合格点は、正式な基準設定調査を通じて定められました。この調査では、トレーニングを受けた対象領域の専門家が、最低限の能力を備えた受験者に期待される成績の水準を判定しました。スコアは100–1,000のスケールで報告され、カットスコアは720です。

結果の通知。結果は、合格または不合格のステータスと、100から1,000までのスケールスコアで報告されます。スコアレポートには、各内容分野であなたが正解した問題の割合も記載されます。セクション別のパーセンテージは、ご自身の成績を理解するために提供されるものであり、合否の判定には使用されません。合否は総合のスケールスコアに基づいて判定されます。

10. 申し込みと予約

申し込みと予約は、Anthropic Partner AcademyとPearson VUEを通じて行います。

1. Anthropic Partner Academyで受験する試験の認定資格ページにアクセスし、試験の詳細を確認します。
2. 申し込む前に、試験ガイドをダウンロードし、「認定資格利用規約」（Certification Terms and Conditions）と「認定試験ポリシー」（Certification Exam Policy）を確認します。
3. 試験に申し込み、支払い手続きを完了します。支払い手続きの画面に表示される受験料には、ご自身のパートナーティアに適用される割引が反映されています。
4. 確認の案内に従ってPearson VUEアカウントを作成し、サインインして試験セッションを予約します。
5. 空いている日程を選び、オンライン監督付きまたはPearsonのテストセンターのいずれかを選択します。試験はPearson VUEによって実施されます。
6. 予約時刻の24時間前までは、キャンセルまたは予約変更ができます。24時間以内に行った変更では、受験料は返金されません。

11. 試験ポリシー

本人確認書類

試験当日は、有効期限内の、政府発行の有効な写真付き本人確認書類を提示する必要があります。本人確認書類の氏名は、申し込み時の氏名と完全に一致していなければなりません。申し込み時の氏名を訂正する必要がある場合は、試験を予約する前にcertifications-support@anthropic.comまでご連絡ください。

受験上の配慮

障害またはニーズを証明する書類のある受験者は、適用される法律に従い、合理的な受験上の配慮を受けられます。受験上の配慮は、試験を予約する前に申請し、Pearson VUEの承認を受ける必要があります。申請が承認されるまで、予約をしないでください。受験上の配慮はpearsonvue.com/us/en/test-takers/accommodationsで申請してください。

再受験ポリシー

合格しなかった受験者は、所定の待機期間の後に再受験できます。待機期間は不合格の回数が増えるごとに長くなり、初回の後は14日、2回目の後は30日、3回目の後は90日です。同じ試験は、任意の連続する12か月の期間内に4回まで受験できます。上限は試験ごとに適用されるため、ある試験に合格しなかったことで、別の試験に申し込めなくなることはありません。受験料は受験のたびに必要です。

無断欠席と遅刻

予約した試験に現れなかった受験者、または許容される遅刻の時間枠を過ぎて到着した受験者は、受験料が返金されず、あらためて申し込む必要があります。キャンセルと予約変更の期限はセクション10に記載されています。

12. 試験当日の流れと受験規則

試験は、標準化され、安全が確保された、監督付きの環境で実施されます。オンラインで受験する場合も、Pearson VUEのテストセンターで受験する場合も、資格を保有するすべての人のために資格の信頼性を守る目的で、以下の規則が適用されます。

試験中は、次のことを守る必要があります。

- オンラインで受験する場合、セッションの間ずっと試験監督者とウェブカメラの視界内にとどまる
- 作業スペースにメモ、書籍、電話、サブモニター、その他の物品を置かない
- 試験中、他のいかなる人とも連絡や会話をしない
- 試験内容を、いかなる形式でも記録、複写、撮影、複製しない

持ち込みが禁止されている物品には、携帯電話、スマートウォッチ、ヘッドホン、学習教材、あらゆる録音・録画機器が含まれます。試験監督者が提供するメモ用紙など、持ち込みが許可される物品がある場合は、Pearson VUEが指定します。

不正行為の結果。カンニング、禁止されているリソースへのアクセスの試み、試験内容の開示があった場合、結果の無効化、資格の取り消し、今後の試験の受験禁止となることがあります。

13. 機密保持と秘密保持契約

試験が始まる前に、機密保持および秘密保持契約に同意する必要があります。同意することにより、問題、解答の選択肢、シナリオを含むすべての試験内容がAnthropicの機密情報であり専有財産であること、およびそのいかなる部分も開示、複製、配布しないことに同意したことになります。契約に同意しない場合、試験セッションは終了し、返金は行われません。

14. 資格の維持と再認定

Claude Certified Associate – Foundations資格は、授与された日から12か月間有効です。基盤となる技術は急速に進化するため、資格保有者が最新の知識を維持できるよう、資格には期限が設けられています。

期限内に更新するには、認定を受けてからの変更点を確認し、Anthropic Partner Academyで無料の監督なしのアセスメントを完了します。期限内の更新に費用はかかりません。資格が失効した場合、認定されたステータスを取り戻すには、正規の受験料で試験全体を再受験する必要があります。

試験内容が大幅に変更された場合、Anthropicは資格保有者に対し、再認定のために、更新アセスメントの完了ではなく試験全体の再受験を求めることがあります。

資格保有者には、セクション12に記載された受験規則が引き続き適用されます。

15. 受験者サポート、異議申し立て、プライバシー

サポート

申し込み時の氏名を訂正するには、certifications-support@anthropic.comまでご連絡ください。申し込み、予約、受験上の配慮、結果など、その他すべての質問については、Pearson VUEのサポート（pearsonvue.com/us/en/anthropic.html）にお問い合わせください。

異議申し立てと苦情

決定に対しては、その通知を受けた日から14日以内に異議申し立てができます。試験結果に関する懸念の場合は、試験日から14日以内です。異議申し立ては、上記のリンクからPearson VUEのサポートに提出してください。異議申し立ては、プログラムの異議申し立てポリシーに基づいて審査されます。基準設定の結果および個々の試験問題の内容は、異議申し立ての対象になりません。

プライバシー

申し込みおよび受験の際に収集される個人データは、Anthropicのプライバシーポリシー、Pearson VUEのプライバシーポリシー、および適用されるデータ保護法に従って取り扱われます。

16. 文書管理

バージョン	変更の概要	日付
1.0	初版発行	2026年7月